



ようやく梅雨に入りました。過去3番目に遅い梅雨入りだそうです。稲作文化の日本では梅雨は絶対に必要なものですが、問題は雨の降り方です。せっかく育った苗が何事もなく順調に育ちますように。また、その他の農作物や自然環境、私たちの生活に大きな影響を及ぼさない今年の梅雨であってほしいものです。

中3 友灯オリエンテーション

吉野材について、國栖地区の和紙について学んできた集大成ともいえる、中学校3年生での友灯づくりです。吉野材、和紙ともにあたたかみのある材料を使って、自分だけの、自分がつくりたい友灯をつくるための第1歩であるオリエンテーションがありました。あかり工房吉野の坂本尚世さんをお招きして、友灯について教えていただきました。まずは私たちのふるさと、吉野について考えることから始めました。

友灯を作るための材料である杉、檜などの吉野材や和紙は、吉野町に関わりのある方々が準備してくださったこと。このようなあたたかみのある人の和のおかげと、あたたかみのある材料を使って作るのだということを心に置いて、製作活動に取り組みましようとのことです。

見せていただいた作品は、どれも心癒すものばかりでした。自分の心を癒す友灯。周りの人の心を癒す友灯。イメージはできましたね。次は、イメージをデザインして形に表すことにしましょう。できあがりのイメージを、大切にね。

小5 野外活動：宮滝野外学校にて

1日目は、宮滝地区の豊かな自然と悠久の歴史を感じながらのフォトウォークラリー。お家の人の気持ちがかもったお弁当をいただくお昼ごはん。なかまとの心の繋がりを高め合うハートアクティビティ。みんなの協力があってこそご飯が炊ける、カレーを煮込める、そして楽しくいただける野外炊飯。これまでの準備の数々が、一気に燃え上がってみんなの笑顔に変わったキャンプファイヤー。自分のことは自分でするベッドメイキング。このように、充実した活動をすることができました。

2日目はあいにくの雨でしたが、室内で木材を活用したみんなのアイディア満載のハンドクラフト。最後に、今一度、みんなの心を繋げる、高めるためのハートアクティビティをしました。

たくさんの思い出と、身につけたたくさんの新しい力。これからの学習で、生活で生かしてくれることでしょう。2日目のごはんのお世話や、活動の支援をしてくださった宮滝野外学校の皆さま。ありがとうございました。火ノ神もがんばりました

心をみがく 心がうるおう ~そんな場面~

する。する。
廊下の床みがきの音です。ぞうきんにある4角のひとつを選んでつまみ、軽く水をつけ、廊下の木の床にある黒い部分をこすっていきます。つまんでいる指に力が入ります。

する。する。数回でたいがいの黒い部分はなくなり、もとの木目が美しい床板にもどります。よし。じゃあ次と、しゃがんでいる足を少し移動させてからする。する。が再び始まります。

小学生も中学生も、限られた掃除の時間に学校を美しく保とうとしてくれているのはうれしいです。床板の汚れを見つける目。その汚れを無くそうと思う心と無くすための行動力。きれいになった様子を喜ぶ心。これらをまとめて、私は「そうじは心。心をみがく」と子どもたちに伝えています。

みんなが使うところを、自分の力を出してみんなが気持ちよく使えるようにするために、心をみがく子どもたちの姿。応援したくなります。

No6で、手ふり挨拶の紹介をしたところ、思いがけない出来事がありました。

6月21日は雨でした。いつもは自転車通学なのですが、この日は自家用車で通学する生徒が多かったです。徒歩、自転車通学の子どもたちとはいつもの挨拶。バス通学の子どもたちともいつもの挨拶。自家用車通学の子どもたちはというと、南門を通過するとき手を振ってくれたり、軽く会釈してくれたり、いつもの言葉の挨拶に変わる挨拶を各自考えてしてくれていました。うれしかったですね。

ここで、思いがけない出来事が起こります。

自家用車が南門手前でかなり減速をしました。何かかなと思っていると、運転している保護者の方が手を振ってくれたのです。私も手を振りかえました。うれしさと驚きでいっぱいでした。No6を読んでいたのでしょうか。

雨の朝のひとつとき。心がうるおいました。自家用車通学は、安全運転第一でお願いしますね。

○ 中学校3年生の保護者の皆さま。進路説明会に参加していただき、ありがとうございました。今後の進路選択に関して、精一杯のサポートをして参りたいと思います。尋ねたいことがあれば、遠慮なく学校に問い合わせてください。ともに、子どもたちの進路選択について考えていきたいと思ひます。